

6月19日：決算期待からベトナム株は上昇

ベトナム株は第二四半期決算への期待から上昇をするという新たな段階に入ったと思われるとある証券会社は語った。

ホーチミン取引所のVN指数は1.55%高の868.56ポイントで取引を終えた。

同指数は先週一週間で0.58%高となった。

出来高は平均で4億3900万株で売買代金にして8.6兆ドンであった。

MB証券のアナリストによると、短期的な調整は終わり大きな売りはおこならないと予想されるとのことだった。

悲観論は消え去り、市場は相場は第2四半期決算が良いと思われる銘柄を中心とした上昇相場に突入したと思われると同社は語った。

BIDV証券はデイリーレポートで、ETFの再構成が流動性の増加とともに終えたということが、ポジティブなトレンドを表していると語った。

ロンベト証券は流動性の低い中の調整後にVN指数は金曜日に大きく反発したと語った。

同社は投資家に市場が値下がりした時にはわずかに買いを入れて今後の上昇に備えるように語った。

アグリバンク証券は保守的な見方を維持しており、今後も横ばいが続き830-870ポイントで取引されると予想している。

新型コロナの第二波がいくつかの国々で見られることを受けて先週の反発はわずかなものにとどまった。しかしながら、米国の追加景気刺激策を受けて世界の株式市場は落ち着きを取り戻したとサイゴンハノイ証券は語った。

バオベト証券はセクターごとにまちまちの動きとなる中で840-845から883-888ポイントのレンジで推移するだろうと語った。

週の前半は調整圧力が高まり、後半にかけて 883-888 ポイントを目指すかもしれないと予想した。しかしながら、840-845 ポイントを割ったら大きな売りに見舞われるだろうということを注意する必要があると語った。

外国人投資家は 14.7 兆ドンを買い越し、先々週は 4220 億ドンの買い越しだった。

ビンググループ関連が相場を牽引した。ビンググループ (VIC) は 6.1%高、ビンコムリテール (VRE) は 7.4%高、ビンホームズ (VHM) は 2.5%高となった。

鉄鋼セクターも上昇した。ホアファットグループ (HPG) は 3.2%高、ホアセングループ (HSG) も 8.2%高となった。

飲食料セクターは大きく下落した。ビナミルク (VNM) は 2.5%安、マッサングループ (MSN) は 2.6%安、サイゴンビール (SAB) は 3.3%安となった。

航空株は下落。ベトジェット航空 (VJC) は 3%安、ベトナム航空も 1.6%安となった。

石油ガスセクターはまちまちとなった。ペトロリメックス (PLX) は 1.9%高、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS) は 1.1%高となったが、ペトロベトナムガス (GAS) は 2.7%安、ペトロベトナムコーティング (PVC) は 6.2%安、ペトロベトナムパワー (POW) も 0.8%安となった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。